

コロナ禍を機に情報発信を強化！繁華街の地元密着に向けた取組 【北海道社交飲食生活衛生同業組合 釧路地区本部、釧路末広振興会、くしろ北大通商店街】（釧路市）

より地域に寄り添った繁華街へ

北海道社交飲食生活衛生同業組合 釧路地区本部、釧路末広振興会、くしろ北大通商店街は、JR 釧路駅から徒歩 10 分圏内、釧路市の繁華街に所在している。

新型コロナウイルスの感染拡大は、繁華街に所在する同組合等の加盟店に大きな影響を及ぼした。緊急事態宣言の発令による外出自粛要請の解除後も、繁華街への外出自粛が定着し、以前の活気が戻らない状況にあった。

同商店街では、コロナ禍を踏まえた事業環境に対応するため、地域に密着したエリアである強みを活かし、地域住民と共に継続的な発展を目指していく取組を実施した。



地域ポータルサイトとローカルインターネットチャンネル開設によるくしろ地域商店街魅力発信事業

同商店街では、近年の大型商業施設の増加やネットショッピングの台頭により、厳しい商環境に置かれる中、近隣エリアに所在する組織が連携してイベントを開催するなど、商店街への誘客促進の取組を実施してきた。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以降、繁華街に所在する同商店街の商環境は更に悪化し、商店街への誘客促進の取組も打つ手無しの状況となっていた。

こうした状況だからこそ、地域住民へ地元ならではの情報発信を強化する必要があると考えた同商店街は、コロナ禍の厳しい経済環境と不安が広がる状況の中で、くしろ地域に暮らす人々に、愛する地元を改めて（「知ってもらう」「もっと身近に感じてもらう」「地元から地元民から伝えていく」）「つながりの場」を作ることを目的に、Go To 商店街事業を活用して、くしろ地域の情報を集約できる「窓口」としてのサイトならびに放送局を開設することとした。

Go To 商店街事業では、「地域密着」をテーマに、地元住民へ地元ならではの情報を発信する「地域総合プラットフォーム」の構築とそれに連動したイベントを実施した。



地域総合プラットフォームの構築では、地域総合ポータルサイト「くしろ COTO」と、地域民放インターネットチャンネル「くしろグ」を開設。

「くしろ COTO」では、グルメ、イベント、子育て・教育・カルチャー、ライフスタイルなどのカテゴリから構成され、地元ライターが紹介する釧路市内の飲食店やイベント、子育てなど地域の情報を幅広く掲載している。本サイトの構築によって、事業者の WEB での情報

発信意識を高めるとともに、HP を持たない事業者の情報も発信でき、地域住民にもあまり知られていない情報を発信できる強みの獲得にもつながった。

「くしろグ」では、地元商店主の魅力や人柄、店内の様子など、YouTube チャンネルを通して具体的な情報を発信するネットテレビ局を開設。コロナ禍で繁華街が悪者にされる風評被害に悩む商店主をドキュ

メンタリー風に伝える動画など、視聴者に感情移入を促す構成とし、他のメディア媒体との差別化を図っている。開局を記念したイベントでは、コロナ禍で活動の機会が減少した地元アーティストによるライブパフォーマンスのほか、くしろ COTO に執筆しているライターが出演し地域に対する思いを語った。「くしろログ」は毎週火・木曜日に特設スタジオから番組を放送中。商店街が目指す地元密着型のローカルメディアとしての役割を果たしていく。

今回、「くしろ COTO」「くしろログ」の開設にあたっては、地元住民への知名度を高めるため、WEB、FM、新聞広告など地域への広告宣伝に注力した。実施期間中、釧路市での新型コロナウイルスの感染拡大の影響で取材活動が思うように出来ず、サイトの公表が遅れたことから目標値には届かなかったものの、くしろ COTO は、2021年1月に開設以降、3ヶ月で4万回を超えるアクセスを得たほか、くしろログも開設から3ヶ月で3万回を超える再生数、1,300人を超えるチャンネル登録者を獲得するなど、地域に浸透してきている。

イベントの開催については、地元歓楽街での一大イベントである「釧路すえひろはしご酒大会」と「釧路スタジオ」をくしろログでのライブ配信を含めた方式で開催。変化する感染状況に憂慮しながら、従来と形を変えつつ、伝統あるイベントの開催にこぎ着けた。

今回のはしご酒大会は、外出自粛による影響が続く中、商店街に足を運んでもらい、新しい生活様式に対応した店内を紹介することで繁華街への不安を解消することと、例年開催のイベントの継続による事業者マインドの下支えを目的に開催した。開催期間の延長などコロナ禍に配慮した内容としたが、首都圏での緊急事態宣言の発令に伴い事業を中断したこともあり、目標を超える参加者は得られなかった。しかし、手配済の商品を無駄にしないために、テイクアウトやデリバリーに切り替えて事業を継続するなど、臨機応変な対応で需要喚起につなげた。

釧路スタジオは、2019年に始まった、地元サブカルチャー（コスプレ・アニメ・音楽）の撮影会やライブイベント。「はしご酒」は緊急事態宣言下でのリアル開催となり目標参加者数を下回った一方、「釧路スタジオ」は、サブカルチャーのWEB配信との相性の良さを活かしてオンライン開催を成功させた。

繁華街の同商店街は、今回の取組を足がかりに、より地元密着した商店街を目指していく。



<参考> 本事例で紹介したポータルサイト、チャンネルは、以下をご覧ください。

- ・ [地域総合ポータルサイト「くしろ COTO」](#)
- ・ [地域民放インターネットチャンネル「くしろログ」](#) (YouTube)

<商店街からひとこと>

今回の事業は、影響の大きい「飲食事業者」「対面サービス事業者」「観光関連事業」が多く事業を営む地域の商店街として、各事業者の現状を少しでも多くの人々にお伝えし、地元住民の方々への関心と寄り添う気持ちをご理解していただくために実施しました。また、各種イベント中止に伴い影響を受けた広告・イベント関連事業者に業務を依頼することで、今後の観光関連・地域活性イベント再開までの手助けとなるよう、各種広告物や機材関係の発注・WEBによる情報の発信などを行いました。

この施策をひとつの契機として、地域住民が改めて地元への関心を高めることや寄り添う気持ちを持ち、支え合いながら地域の人と経済を潤していけるよう、今後も取り組んでまいります。

商店街データ

商店街名（幹事組合）：北海道社交飲食生活衛生同業組合 釧路地区本部

所在地：北海道釧路市末広町

商店街の類型：地域密着型

連絡先：0154-64-6873 担当：事務局長 大野